

補助事業番号 21-22

補助事業名 平成21年度 自転車に関する普及啓発等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国内外の自転車の関連映像を収集し、テレビ・ラジオ等のマスメディアを活用して自転車のスポーツ性・魅力を周知し普及啓発を行い、自転車の需要喚起を促し、もって自転車産業の振興に寄与する

(2) 実施内容

① 自転車競技等に関する調査研究

平成21年度自転車競技関連施設来場者等に対する調査について、専門の調査機関に委託して実施した。

② 自転車に関する広報

広く一般社会に対して、自転車利用の促進・理解と認知拡充を図るため、テレビ、ラジオ等のマスコミ媒体を通じて国内外の各種自転車競技の情報提供を実施した。

③ 自転車文化センター事業

第13回ツアー・オブ・ジャパンの開催に際して、堺・美濃・南信州・伊豆・東京の各ステージにおいて大型映像装置による場内実況中継を実施すると共に、大会終了後、NHK BS1において大会総集編特別番組を放送した。

自転車技術の開発の理解と認知拡充並びに利用促進のために「2010ハンドメイドバイシクルフェア」展を開催したが、開催に当たってはテレビ、新聞、雑誌、インターネットを通じて開催趣旨と開催内容の告知を、開催終了後は開催の様子を提供した。自転車競技の歴史とその魅力を周知し普及啓発のために、収集した映像の放映を行う「サイクルシアター 銀幕に蘇る銀輪の栄光」展を開催したが、開催に当たっては雑誌、インターネットを通じて開催趣旨と開催内容の告知を、開催終了後は開催の様子を提供した。

科学技術館内において自転車競技、自転車利用の促進・理解と認知拡充を図るため、3D立体ハイビジョンシアターを設置しているが、新たに4本の映像を制作し来場者

に毎放映した。

3. 予想される事業実施効果

①自転車競技等に関する調査研究

全国の自転車競技場の経営状況や他のプロスポーツ競技を調査すると共に、来場する顧客の動向を観測・分析することにより、調査結果を広く自転車競技場運営団体に周知し、同団体の運営改善及び来場者促進等の処施策の一助となることが期待できる。

②自転車に関する広報

テレビ・ラジオを通じて、自転車に関するスポーツ番組の提供等を実施したことにより、自転車競技に対する認識が拡大されたほか、自転車利用の環境整備について広くPRしたことで、より一層乗用環境の整備が促進されていくと思われる。

③自転車文化センター事業

第13回ツアー・オブ・ジャパンの開催に際して、場内実況中継を実施したことや、大会終了後にNHK BS1で大会総集編番組を放送したことなどを通じて、広く視聴者に自転車競技のイメージアップと普及啓発を図ることができる。

「2010ハンドメイドバイシクルフェア」展と「サイクルシアター 銀幕に蘇る銀輪の栄光」展の開催並びに科学技術館内での立体ハイビジョンシアターの3D映像を放映することにより、自転車の様々な競技、歴史、技術開発、利用促進、交通ルールなどを児童・生徒等若年層から高齢者まで幅広く普及啓発を行うことができる。

4. 本事業により作成した印刷物

- ・「自転車競技場経営状況調査及びプロスポーツ競技等における再活性化成功事例調査研究」報告書 60部
- ・「「自転車競技場施行状況」及び「ご意見くださいキャンペーン」調査研究」報告書 60部
- ・自転車文化センター事業として「自転車文化センター友の会だより」 年4回発行 各回150部

5. 補助事業者連絡先

団体名：財団法人 日本自転車普及協会
(ザイダンハウジン ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所 : 107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号
代表者名 : 会長 阿部毅一郎 (アベ キイチロウ)
担当部署 : 事業部
担当者名 : 事業部 担当部長 山本耕治 (ヤマモトコウジ)
電話番号 : 03-3585-7578
FAX番号 : 03-3586-9782
E-mail : gyou2@jifu.jp
U R L : http://www.bpaj.or.jp/